



バドミントン山形

山形県バドミントン協会広報

2018 No.53

<http://www.badminton-yamagata.net> ー大会日程等はこちらでご覧になれますー

第53号

平成30年3月21日

発行

山形県

バドミントン

協会

印刷 寒河江印刷株式会社

佐藤美代子副理事長 世界で羽ばたく!!!

世界シニア 55歳女子ダブルス 銀メダル
55歳混合ダブルス 銅メダル



副理事長就任にあたって

加藤 安史



日ごろより山形県バドミントン協会の運営に對しまして、格段のご理解、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。この度、山形県バドミントン協会の副理事長に就任致しました。

本協会は、昭和24年に発足し、バドミントンの普及と発展に努力を傾けてまいりました。かつて山形県はバドミントン王国と呼ばれた時期もあり、全国トッププレイヤーを数多く輩出し、全国へ名を轟かせた強豪県でしたが、平成4年開催のべにはな国体を境に低迷期を迎えました。しかし、近年はジュニア育成の芽が出始め日本代表に選出される選手もおり、古豪復活の兆しが見え始めております。

これらの成果については、各地区協会、高体連、中体連、ジュニア連盟等々、関係各位の方々のご尽力の賜物と思っております。

これからも、関係各位との連携を密にし「チーム山形」として、古豪復活を現実のものにして行きたいと思っておりますので、更なるご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

世界シニアに参加して

佐藤 美代子

世界シニア選手権大会は、2年に1度開催され、今回で第8回となります。出場資格は、2年間全日本シニア選手権大会各年齢ベスト4以上の成績であることと、なかなか世界に出場するのも大変です。私は平成14年以降ずっと出場しておりいつか機会あれば挑戦したいとずっと考えていました。ただし、1週間の試合と、開催地に出発してから帰るまで10日間も留守にすることは、相当の覚悟でないと参加できないと思います。参加人数は各年齢エントリー数32枠、トーナメント戦、それ以上の参加者がある場合は予選会を行うこととなっています。私の出場する50歳以上は参加人数が多く、世界も同様でした。

エントリー1種目目55歳女子複は、11日〜17日までの日程のうち5試合。決勝戦は最終日、デンマークの絶対王者、身長体重テクニク全てにかなわないと感じさせる風格：やはり凄かった。返すのに精一杯でどこが穴なのか考える余裕すらありませんでした。次回当たったら何ができるのだろうか、どうしたら勝てるのだろうかとか試合が終ってからも帰りの飛行機の中でもずっと頭から離れませんでした。

エントリー2種目目55歳混合は、神奈川の方とペアだったので横須賀まで1度練習に行き、その練習で前回の銀メダリストを破り、気をよくして世界大会に臨んだが：自分の無力さを痛感した試合内容でした。1回戦からファイナル延長ゲーム、30点まで行くのかと思うほど1点1点競り合いつらい戦いでした。何度胸の日の丸を握りしめたことか：準決勝まではずっと1戦1戦苦しい戦いでした。ここでもあの女子複の金メダリスト絶対王

者が立ちほだかり、男子がインドネシアのプロとのペアでしたが、日本では味わえない混合の醍醐味を経験できました。

そして、3種目目、60歳単にもエントリーしました。11年前に前十字靭帯を切り、毎年のように膝の手術をしながら、自分の中では一番大好きな種目なのに、もう二度と出来ない、長くバドミントン人生送りたいなら絶対出てはいけない種目でした。走ることも手術以來してないのに：馬鹿な自分が顔を出してきて、世界に挑戦したいという気持ちが強くなりエントリーしてしまいました。大会当日まで足を大事にして試合の練習すらしないで出場しました。1回戦は第2シードのバックで対インド戦は無事に簡単に勝利、2回戦は前回の銀メダリストのイングランド。ネットプレー、四隅のつき方が上手くて、試合感がようやくつかめてきた時には、終盤でした。もう一度シングルスをやりたい、コートの中を走り回りたい、と強く感じました。私は日本全国どこに行っても、世界に行っても、観光よりも、どっぷりとバドミントン漬けになっている自分がいて、バドミントンのことを考えていることが本当に幸せです。また機会があれば、自分と同じような仲間と一緒に世界にチャレンジしてみたいと思っています。



大会を振り返って

第72回笑顔つなぐえひめ国体結果報告

期日 平成29年10月6日(金)〜9日(月)
会場 砥部町陶街道ゆとり公園体育館

【成年男子】

監督 青柳 壯彦

選手 澁谷 勇希(明治大学)、田中 貴志(でん六)

三浦 貴大(オリエンタルモーター)

1回戦

山形県 1-2 北海道

複 三浦・田中 0-2 東野・渡部

単1 澁谷 2-1 塚本

単2 田中 0-2 東野

国体東北ブロック大会では十数年ぶりに6県中2県の出場枠を勝ち取り国体出場を決めました。昨年に続き単複のエース五十嵐優選手が海外遠征のため出場できずエース抜きでの戦いを強いられました。初戦となった対北海道(JR北海道)戦、第一試合の複は序盤こそ競りましたが、中盤以降相手のスピードとコンビネーションについていけずこのゲームを落とすと、その悪い流れを断ち切れないまま2ゲーム目も落とし敗退しました。第一単の澁谷選手は大学3年生となり安定感が増し、第





1ゲームを奪われたものの、2ゲーム目以降落ち着いた試合運びをし、終盤にキツキツと得点を重ね見事に勝利しました。勝負のかかった第二単田中選手、序盤は一進一退の攻防も終盤にミスが続き惜敗。2ゲーム目は疲れが出て足が止まったところを一気に攻められ残念ながら敗退しました。

本国体では勝利することは出来ませんでした、昨年に続き東北予選を通過したように確実に力をつけています。近い将来皆様が良い報告が出来るように、今まで以上に日々精進していきたいと思っています。最後になりましたが、県内外よりたくさん応援していただき選手の大きな力となりました。心より感謝申し上げます。今後とも応援宜しくお願い致します。

少年男子ベスト16の成果

【少年男子】

監督 遠藤 保樹
選手 近藤 直希(山本学園)
 赤木 優佑(米沢工業)
 安達 大真(鶴岡工業)

先般開催された愛媛国体においてベスト16の成績を収める事が出来ました。今回のメンバーは選手全員が別々の高校で内2年生が2名の構成となり、国体までの練習などが不安でしたが、関係者のご協力の下、多数の合同練習と、実業団や大学に遠征しゲーム



練習を重ねることで、心身ともに実力を向上する事が出来ました。

国体では、初戦神奈川県、2回戦岐阜県と対戦し緊張しながらも積極的なプレーで接戦の末、勝利しました。3回戦の長崎県では、全国レベルを痛感させられベスト8には届きませんでした。国体、遠征等で得た貴重な経験を今後にかかして欲しいと思っています。最後に、ご尽力いただいた関係者各位に御礼を申し上げますとともに、今後も強化事業へのご協力の程よろしくお願い申し上げます。

第16回 日本バドミントン ジュニアグランプリ2017

期日 平成29年11月24日(金)～26日(日)

【男子】会場 宇都宮市清原体育館

監督 神保 一寿 **コーチ** 油井 敏和

選手

小学生 今田 竜大(奥羽JBC)

油井 颯飛(ふじかけ)

中学生 門脇 令(鶴岡一中)

山科 陽翔(明倫中)

高校生 安達 大真(鶴岡工業)

岩田 零(山本学園)

今年度から、会場が栃木県となり試合形式がシングルの対戦での団体戦となりました。

フリー抽選の結果、予選リーグは東京都と滋賀県との対戦になりました。

第1試合、東京都、小学生シングルス油井がファイナルゲームの接戦で勝ち、中学生シングルス山科が負けてしまい、高校生シングルス安達の勝負となりましたが、接戦の末負けて



しまいました。

第2試合、滋賀県、小学生シングルス今田がとても良く我慢強くプレーしましたが、負けてしまいました。中学生の門脇、高校生の岩田もあいてのスピードについていけず、ストレートで負けました。

山形県チームは予選リーグ敗退となりました。今大会を通し、山形のジュニア選手と他県のジュニア選手のレベルの差はなくなってきていると感じました。これも様々な指導者や保護者、協会スタッフががしっかりサポートしているからだと感じました。今後、五十嵐優選手のように素晴らしい選手がどんどん育ち、山形を盛り上げて行ってくれると思います。大会でのいろいろな方からの応援ありがとうございました。

【女子】会場 鹿沼市総合体育館

監督 杉山 慶太 **コーチ** 永岡 誠

今回栃木県宇都宮市、鹿沼市で行われたジュニアグランプリに、高橋寧女(米沢南部JBC)、永岡由帆(山口)、太田咲(天童一中)、今田ひなた(日新中)、吉田有希、大沼友里愛(共に山形城北)の6名で参加しました。今回からシングルスのみでの試合方式となり、特に個人の能力が試される試合となりました。北海道、大阪との対戦で、1-2、0-1という結果でした。北海道戦で中学の太田が一矢報いましたが、それ以外は実力は発揮できず残念な結果となりました。特に、フロントワーク能力と、フロントコートでの技術の差を感じました。今回の経験、悔しさを自分の糧とし、更なる成長を期待します。皆様からの多大なるご支援、ご声援、誠にありがとうございました。



地区のトピックス

山形

山形地区実業団 バドミントンリーグについて

広報部 鶴 浦 啓

山形地区実業団バドミントンリーグは今年で37回を数える歴史のある大会です。今年度は21事業所がエントリーし、山形地区協会2チーを加えて、計49チームが、1部～6部、オープン部の計7部のカテゴリーにわかれて競技します。3複2単ですが、1チーム4名以上で参加できるルールとなっています。1部～6部までは、成績によって1チームが自動的に入れ替わるシステムです。今年は1月～2月の土、日に、延べ5日間開催され、事務局(今年度は自衛隊チーム)と運営団体とで運営されます。開会式、閉会式もにぎにぎしく催されます。各部の団体賞の他、個人賞(各部の優勝チームのMVP)もあり、熱戦が楽しく繰り広げられます。



新庄

三年ぶりの愛好者大会開催

競技広報部長 奥 山 貴 裕

毎年秋に新庄で行われている「山形県愛好者バドミントン大会」が、この度三年ぶりに開催されました。新庄市体育館の耐震・補修工事の為に中止でありましたが、これまで県内各地はもとより隣県からの参加も頂きながら毎回盛大に行われていただけに、当地区協会としてもさみしい二年間でありました。この度で第23回を迎えたこの大会は、べにばな国体を記念して始まり、チームレベルに合わせてA～Eにクラス分けし、3ダブルスで勝敗を競う団体戦です。今回は三年ぶりの開催にもかかわらず、二十八チームの参加をいただき本当にありがとうございます。これからもバドミントン愛好者が集う大会として、継続開催出来るよう努力していきたいと思えます。



Dクラス優勝



Bクラス優勝



Eクラス優勝



Cクラス優勝

Aクラスは参加チーム
ありませんでした。

米沢

米沢地区の選手の活躍を願って

強化委員長 長谷川 圭 太

米沢地区では昨年度から外部講師を招いての講習会を行っています。今年度は北海道からノーススタークリエーション代表の三上裕司氏にお越しいただき、ダブルスを中心とした講習会を行いました。一つ一つの練習に選手たちは試行錯誤を繰り返しながら練習に励んでいました。また、選手だけでなく指導者も情報共有することができ、地区全体として充実した講習会となりました。

今後も選手たちが試合で最高のパフォーマンスを発揮できるようサポートをしていきたいと考えています。そのためには、日々進化するバドミントン技術やプレーに、選手はもちろんサポートする指導者も順応していくことが必要と思えます。

置賜地区の子どもたちの活躍を願い、今後も継続的に活動を企画して参ります。



競技人口の拡大に向けて

広報部 渡部 貴裕

7月の南東北インターハイ、鶴岡でも団体戦の多くが行われ、連日熱戦が繰り広げられました。鶴岡からは鶴岡工業高校が団体戦と個人戦、鶴岡北高校が個人戦で出場し、全国の精鋭を相手に奮戦、地元応援団も大いに盛り上がりました。そんなインターハイに沸いた鶴岡ですが、バドミントン教室というものを2年ほど前から定期的に開催しています。年数回に分け、1回の参加人数は25名ほどで、小学生からシニアまで幅広い層が楽しくバドミントンを楽しんでいます。中には十数年振りにラケットを握った！という復活プレイヤーもちらほら。強化には競技人口の増加は欠かせない！バドミントンの更なる普及につながることを期待しております。



鶴岡

二〇一七酒田

理事長 伊原 淳

最大の懸案だった高等学校唯一のバドミントン部の存続が確定。新高校の体育館にもコートラインが引かれ、胸をなでおろした酒田地区です。近年、高校生に加え中学生も協会主導ではありますが各種大会への参加の道筋が付いたことから、皆様より色々なご助言、ご協力や大会、練習会へのお誘いを頂けるようになり感謝に耐えません。一方、おとな、社会人ですが、地区の特性上？競技志向はお世辞にも強くなく、地区の事業もシングルスを含めた個人戦トーナメントよりもリーグ戦形式のダブルスやチーム対抗戦をメインに企画・運営しています。おかげさまで以前の閑散とした淋しい大会は解消されました。ジュニアを含め大会数が増えて地区協会として忙しい毎日ですが、今後は中身の充実に向けて取り組んでいきたいと思っております。



酒田

平成29年度

山形県バドミントン協会強化指定選手

平成29年度も各種大会成績を参考に強化指定選手が選考され、県内練習会、合宿、県外遠征、N.T.T東日本選手との交流などにより強化が図られました。

選考された多くの選手が全国で活躍することを期待したいと思います。

高校生

男子

赤木 優佑	米沢工業	2年
安達 大真	鶴岡工業	2年
中鉢 譲	鶴岡工業	2年
五十嵐功一	鶴岡工業	2年
佐藤 輝樹	鶴岡工業	2年
遠藤 黎	米沢工業	2年
岩田 零	山本学園	2年
中島 光人	山本学園	2年
五十嵐光海	鶴岡南	1年
堀 春樹	山形商業	1年

高校生

女子

吉田 有希	山形城北	2年
三上 菜月	山形城北	2年
青柳 朱音	山形城北	2年
野口 綾音	鶴岡北	2年
情野 稚菜	九里学園	2年
佐藤萌々花	鶴岡北	2年
大沼友里愛	山形城北	2年
佐藤 萌花	羽 黒	1年
菅野 涼葉	九里学園	1年

中学生

島貫 陽仁	山形十中	2年
門脇 令	鶴岡一中	2年
山科 陽翔	明倫中	2年
金田 侑真	新庄中	2年
大林 大河	天童二中	2年
佐々木志穂	鶴岡三中	2年
大場 世嵐	天童一中	1年
難波 魁凌	鶴岡三中	1年
佐藤 直紀	鶴岡一中	1年

小学生

太田 咲	天童一中	2年
今田ひなた	日新中	2年
志田 真倅	立川中	2年
齋藤 梓	米沢二中	2年
齋藤 桜	米沢二中	2年
河内茉日路	山形三中	2年
鈴木 美結	山形三中	2年
山川歩乃果	山形六中	1年
小野 輝莉	鶴岡一中	1年

小学生

今田 竜大	奥羽JBC	6年
油井 颯飛	ふじかけ	6年
島貫 壮陸	ふじかけ	6年
佐藤 愛翔	大山バド	5年

小学生

高橋 寧女	米沢南部	6年
永岡 由帆	山口バド	6年
佐藤 瑞姫	南部シャトル	6年
伊藤 玲奈	南部シャトル	6年

南東北インターハイを振り返って

各チーム 監督さんより

鶴岡工業高校 男子監督

小野 和之

本チームからは男子学校対抗戦、男子ダブルス2ペア、男子シングルス1名、女子シングルス1名が出場。県高体連から強化費をいただき、東北や関東の大学トップ選手に相手をしてもらう機会を得、確かな手応えを感じ試合当日をむかえた。学校対抗戦1回戦の相手は奈良代表、個人の出場枠を全て獲得している。会場は小真木原、当日は日曜日ということもあり大声援の中試合が開始された。選手も私も初めて経験する完全ホームでの試合であり、大声援に背中をおされた。第2ダブルスが相手エースペアに逆転勝利し、ストレートでの会心の勝利であった。2回戦は関東1位の学校から敗退したが、力を出せたと思う。入賞を目指していた個人戦は残念ながら振るわず、全国で勝つ厳しさを再確認した。

今大会、たくさんの応援、また地元開催ながら試合に集中させていただきありがとうございました。ございました。



山本学園高校 男子監督

石沢 英司

本チームは、男子学校対抗、男子ダブルス2ペア、男子シングルス2ペアが出場。インターハイ出場を掛け競い合った仲間達が大会を支え見守る中、山形県代表として試合ができる喜びは、何ものにも代えがたいものでした。選手は地元

応援団に勝利の報告をしたいと頑張りました。結果は一勝もできず。最高の舞台を用意して頂きましたが、監督として全国で勝つための方法を伝えきれなかったと悔しい気持ちで一杯です。

今後は長年に渡る準備、そして応援して下さった皆様への感謝の気持ちを忘れずに、今回の敗戦を新たなスタートとして山形から全国に通用する選手を育てられるよう、今まで以上に取り組んで行きたいと考えております。何よりも、地域・学校関係なくたくさんの心温まる応援を頂き、一生の財産となりました。本当にありがとうございました。



山形城北高等学校 女子監督

佐藤 新也

私達、山形城北高校は、地元としてプライドと闘志を持って大会に臨みましたが、結果を出すことができませんでした。団体・個人ともに初戦が鍵であり、それを乗り越えることが勝ち進むことにつながると思っていました。選手を波に乗せることができなかつた悔しさが今でも心に残っています。

今大会後のミーティングで、ある選手がこう言いました。「私たちが負けたのは、相手が強いから負けたのではない。自分達が弱いから負けたのだ。来年はもっと強い気持ちで臨んで欲しい。」私もその通りだと思い、頭を上げ

からガツンと叩かれたような気持ちになりました。山形県女子勢は、1976年に準々決勝に進出して以来40年間、全国で活躍できていません。まるで「全国」の名前に尻込みしているようです。しかし、それに負けない想いがあれば、山形の女子も強くなれると私は思います。その選手もそう言いたかったに違いありません。本来は今大会で結果を出さなければならなかったのですが、地元インターハイが「全国への挑戦」を再度教えてくれたような気がします。その気持ちを忘れず、来年度も挑戦したいと思います。

末筆になりますが、今大会に際しまして、応援して下さい、支えて下さった皆様方に、厚く御礼申し上げます。

山本学園高等学校 女子監督

原田 浩行

南東北インターハイ、山本学園女子は学校対抗・個人ダブルスで出場しました。学校対抗戦は1回戦で西武台千葉との激戦を制した岡山県・山陽女子と2回戦を戦い、結果は0-3でしたが、第1ダブルスはファイナルまでもつれる展開でした。個人戦は愛知の第1代表である名経大市邨との試合で、0-2で接戦を落としたものの最後まで息詰まる好ゲームを見せてくれました。残念ながら勝ちには逃しましたが、予選も含めて生徒はよく戦ったと思います。

また、学校対抗、個人ダブルスともたくさんのご声援を頂戴しました。ご支援くださった方々、運営スタッフの方々にあらためて深く感謝申し上げます。



五十嵐優選手からの

メッセージ



とができました。結果的に国際大会で優勝したり、世界ランク上位の選手に勝ったりする事で更に自信にもなりました。そんな中でも、インカレで負けてしまったり全日本総合前に調子を落としてしまったりと、オリンピックに出場するために必要な1年間SSを勝ち抜く力がまだまだ足りないと痛感しました。今年は1年間を通して成績を出し続け世界ランク上位をキープする事と共に全日本総合優勝を目標に頑張りたいと思います。不安や焦りはありますが、日々全力で夢に向かって頑張ります！

最後に、昨年、多くの皆様からご寄付をいただき、世界の舞台で試合をすることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

昨年自分の中で1番印象に残った試合が、スデイルマンカップでした。世界のトップしか集まらない舞台でそういう選手と試合が出来た事は大きな収穫となりました。そういった経験をしたことで自分のモチベーションを高く保ち続けることが

【2017年の主な成績】

- 4/1~3 大阪インターナショナル 優勝
- 4/6~9 フィンランドオープン 優勝
- 5/21~28 スデイルマンカップ 3位
- 6/15~18 スペインインターナショナル 優勝
- 8/23~29 ユニバーシアード 3位



でん六チーム

「日本リーグチャレンジ」 カップに向けて」

でん六バドミントン部

監督 有路 幸則

平成29年7月5日から5日間にわたって、第67回全日本実業団バドミントン選手権大会が秋田市で開催されました。参加企業160社と年々増えてきている中で、でん六バドミントン部も18年振りの出場を果たしただけではなく、予選リーグを3勝し、1位通過を果たし、決勝トーナメント1回戦も勝ち上がり、チャレンジカップ出場資格が得られるベスト32に入る事ができました。

でん六バドミントン部では平成7年度、初出場でベスト16以来、日本リーグ参戦は、山形県企業で初、東北企業においても、東北マークス（宮城）、北都銀行（秋田）、J R 東日本盛岡（岩手）、に次いで4企業目になります。開催は平成30年2月23日から3日間にわたって、立川市泉市立体育館で行われます。今大会は初出場になりますが、チャレンジリーグ一部昇格を目指し、一戦一戦を大切に感謝の気持ちを持って臨んでいきます。



1日20粒のピーナッツで 美味しく 健康に



株式会社 でん六

本社 / 〒990-8506 山形市清住町3丁目2-45 TEL.023-644-4422
蔵王の森工場 / 〒999-3104 上市市蔵王の森1番 TEL.023-676-2666



委員会報告

◆競技委員会

下記4大会の運営

- ・第41回山形県バドミントン総合選手権大会 H29.5.3(水) 新庄市体育館
- ・全日本シニア山形県予選会 H29.6.10(土) 山形県体育館
- ・第72回国体山形県予選会 H29.7.14(金)~16(日) 山形県総合運動公園
- ・JOC全日本ジュニア山形県予選会 H29.8.11(金) 小真木原総合体育館
- ・第10回山形県高校生あすなろバドミントン大会 H30.2.10(土) 山形県体育館

◆強化委員会

○基礎強化~各地区、スポ少、中学校、高等学校の指導者対象のレベルアップ

- ・強化委員会の開催 H29.7.16(日)、11.19(日)
- ・ジュニア強化事業 H30.2.24(土) NTT東日本バドミントン部 山形県体育館

○ジュニア強化~全国大会入賞を目標に強化

- ・ジュニアグランプリ強化練習会 H29.11.19(日)
- ・強化指定選手練習会 H29.12.23(祝)、H30.1.6(土)、1.21(日)、2.18(日)、3.10(土)~11(日)
- ・指定選手県外遠征 H30.2.18(日)敬和学園大学
- ・中学校選抜の県外遠征(秋田・岩手・山形)3県練習会 H30.2.10(土) 秋田県美郷町
- ・NTT東日本バドミントン教室への参加 H30.2.24(土)

○強化練習会~国民体育大会、東北選手権大会出場選手の強化

- ・県内強化練習会 H29.8.12(土) 山形県体育館

○県外遠征(国体出場種目) 成年男子・少年男子: NTT東日本、法政大学、明治大学 H29.9.30(土)~10.1(日)

◆審判委員会

- ・審判委員会の開催 H29.7.15(土)、H30.2.10(土)
- ・公認審判員資格審査検定会
県協会 H29.7.15(土)、新庄地区 H29.6.18(日)、
鶴岡地区 H29.4.15(土)、米沢地区 H29.4.23(日)、
村山地区高体連 H29.5.20(土)、12.10(日)
- ・全国高校総体への審判派遣 H29.7.30(日)~8.3(木)
- ・東北ミニ国体(秋田県、H29.8.17(木)~20(日))への審判員派遣 2名

各地区別審判員数(H30.2.6現在)

	1級	2級	3級	地区計	準3級
山形	10	17	136	163	60
新庄	3	5	43	51	17
酒田	1	0	19	20	0
鶴岡	2	2	120	124	38
米沢	8	9	86	103	58
合計	24	33	404	461	173

※準3級は今年度取得者数、3級移行者は含まず。

◆指導普及委員会・事業委員会

- ・バドミントンコーチングキャンプ2017 H29.9.30(土)~10.1(日)
山形市江南公民館、江南体育館
- 下記講習会、大会の開催
- ・山形県高校生あすなろ大会 H30.2.10(土) 山形県体育館
- ・NTT東日本バドミントン教室 H30.2.24(土) 山形県体育館

◆高等学校体育連盟

- 下記大会の、開催・運営
- ・県高校春季選手権大会 H29.4.29(土) (山形県体育館)
- ・県高校総体 H29.6.2(金)~4(日) (小真木原体育館、藤島体育館)
- ・県定時制通信制大会 H29.6.17(土) (小真木原体育館)
- ・県高等学校新人大大会 H29.11.4(土)~5(日) (山形市総合スポーツセンター)
- ・ジャワ杯高校選手権大会 H29.11.23(祝) (山形県体育館)



次年度の運営を協議する常務理事会の様様

Badminton / Tennis / Soft tennis

ラケットショップ山形

TEL: 023-643-6238

住所: 〒990-2482
山形県山形市久保田1丁目8-6

営業時間 AM9:00~PM20:00(平日)
AM9:00~PM19:00(日曜・祝日)

定休日 毎週 水曜日

Practice, Practice, Practice All day. Every day.

連盟報告

◆中学校体育連盟

- 県理事会開催 H29.5.16(火)、11.21(火)～22(水)
- 下記大会の開催・運営
 - ・県中学校総合体育大会 H29.7.21(金)～23(日) (山形県体育館)
 - ・県新人体育大会 H29.10.21(土) (山形県体育館)
 - ・県ラケットショップ杯1年生大会 H30.1.28(日) (山形県総合運動公園)
- 強化練習会の開催 H29.7.29(土) (鶴岡一中、四中)、12.23(土) (山形県体育館)

◆小学生連盟

- 下記大会の開催・運営
 - ・小学生ABC大会県予選会 H29.4.30(日) (山形県体育館)
 - ・若葉カップ全国小学生大会県予選会 H29.6.3(土) (山形県体育館)
 - ・県小学生学年別選手権大会 H29.8.26(土) (山形県体育館)
 - ・小学生ダブルス大会 H29.9.17(日) (山形県体育館)
 - ・県少年少女スポーツ交流大会 H29.10.1(日) (新庄市体育館)
 - ・県スポーツ少年団交流大会 H29.11.23(木) (新庄市体育館)
 - ・県小学生シングルス大会 H30.2.3(土) (山形県体育館)
- 強化練習会開催 H29.12.2(土)～3(日)、H30.3.24(土)

◆教職員連盟

- ・バドミントンチャンピオンシップイン山形の開催 H29.12.24(日)～25(月) (山形県体育館)

◆実業団連盟

- ・第33回東北地区実業団選手権大会への参加H29.4.22(土)～23(日) (福島県郡山市)

◆シニア連盟

- ・ジャワ杯シニアミックスバドミントン団体戦大会の開催 H29.7.23(日) (東根市体育館)
- ・シニアバドミントン大会団体戦の開催 H29.11.3(金) (寒河江市市民体育館)

◆レディース連盟

- 下記大会の開催
 - ・ヨネックス杯 全日本レディース選手権大会県予選会 H29.4.9(日) (山形県体育館)
 - ・高橋杯山形県レディース大会 H29.5.7(日) (山形県体育館)
 - ・東北地区レディース大会県予選会兼さくらんぼ杯県大会H29.9.3(日) (山形県体育館)
- 全国大会選手強化練習会の開催 H29.7.1(土) (山形県体育館)

山形県ジュニアバドミントン 育成会からの連絡

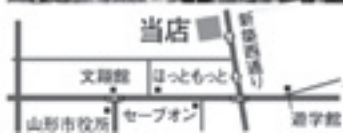
山形県ジュニアバドミントン育成会
理事長 富樫 政利

当会は、平成10年4月に山形県におけるジュニアバドミントン競技の健全な普及及び振興を図り、あわせてジュニア層の健康と体力の育成を目的とし賛同する人達で組織され発足しました。今年で20年目を迎え、昭和30年代の「バドミントン王国、山形」を県下役員一丸となって復活させるべく、全国大会に通じる選手を育てると共に、「大きな夢・オリンピック出場」の実現に向けて、皆様の協力を得て頑張っております。当育成会は、皆様の会費により運営させていただいております。

今年度は、6月に開催されました総会において選出されました、第4代岡田壽紀会長の下で活動を開始いたしました。

8月6日から岩手県花巻市にて行われました、第38回東北中学校バドミントン大会にて、長井南中学校の「梅津美那・加藤綾菜」組が第3位に入省し、第47回全国中学校バドミントン大会に出場しましたので、激励金を贈呈しました。1回戦は勝利しましたが惜しくも2回戦で敗退しましたが今後の活躍を期待致します。又今年度も東北小学生大会を勝抜いて、第26回全国小学生バドミントン選手権大会に出場した10名の選手に激励金を送り、その中で6年生以下男子シングルスで「今田竜大(奥羽JBC)」選手が準準決勝に進出し、優勝した選手に敗退しましたが、見事第5位に入賞する活躍をしていただきました。

今後とも本県ジュニア選手の育成そして「バドミントン王国・山形」実現のため、より一層のご理解・ご支援及び皆様方の会費のご協力をよろしくお願いたします。



広い店舗と豊富な品ぞろえ
専門スタッフのアドバイスで
たのしいショッピング♪



♪地域のスポーツ情報満載!
♪耳より、おすすめ商品情報も満載!
♪イベント情報も満載!

Java Sports
http://www.sports-nakama.com/java-sports
山形市大日町7-28
TEL.023-633-0333

第23回 山形県小学生 バドミントン大会シングルス

2月3日山形県体育館にて、今年度の小学生大会の最後を締めくくる、県小学生シングルス大会が行われました。6年生にとっては、小学生として出場する最後の大会でもあります。比較的暖かい天候の中、1年生から6年生まで、コートの中で熱い戦いが繰り広げられました。優勝した皆さん、おめでとうござります。また、参加した選手のみならず、さらに練習を重ね、バドミントンを通して強い心と体を鍛えてください。



1年生
石沢 康太
(ふじかけ)

黒沢 流空
(ふじかけ)

2年生
金田 煌永
(奥羽JBC)

上野 優寿
(立川バド)

3年生
齋藤 要
(致道バド)

高橋 心
(米沢南部)

4年生
石沢 太一
(ふじかけ)

山川 恵美
(ふじかけ)

5年生
佐藤 愛翔
(大山バド)

榎本 美優
(愛宕テリオ)

6年生
油井 颯飛
(ふじかけ)

高橋 寧女
(米沢南部)

(広報 江波記)

第10回

ヨネックス杯・ラケットシヨップ杯 山形県高校生あすなろバドミントン大会 平成30年2月10日(土) 山形県体育館

高校からラケットを握った生徒に出場資格を限定し、切磋琢磨することを目的に開催しているこの大会も、10回目を迎えました。

熱戦を勝ち抜き優勝した皆さんから一言いただきました。

男子ダブルス 天童高校

優勝を目標にできたので、達成感を味わうことができました。

石川 混一 (写真右)

部活動の練習以外にも、自主練習を頑張りました。

鈴木 一馬 (写真左)

初心者が多い高校なので、この大会を目標に頑張ってきました。

女子ダブルス 九里学園高校

目標は、インターハイ出場です。

嵐田 郁寧 (写真右)

先輩方に優勝してねと言われたので、恩返しができる嬉しいです。

佐藤 由菜 (写真左)

右利きと左利きのペアなので、ローテーションを工夫しました。

男子シングルス

天真学園高校 金子 良介

優勝を目指して頑張りました。強くなるために、自分より強い相手と練習しました。次の目標は春季大会です。

女子シングルス

山本学園高校 阿部香南絵

いつもどおり、試合することを意識しました。優勝できて良かったです。副部長としてもチームみんなを支えていきたいです。

(広報 金子記)

N T T 東日本 バドミントン教室開催

平成30年2月24日(土)に「N T T 東日本バドミントン教室」が山形県体育館を会場に開催されました。

N T T 東日本が、地域貢献と青少年の健全育成を目的に平成12年度から行っているもので、県バドミントン協会の指導普及委員会、事業委員会の事業として開催しており、山形県での開催は、16回目の開催となります。

当日は、N T T 東日本バドミントン部の須賀監督以下、全日本総合での優勝者や元世界ランキング3位の選手など、日本のトップの経歴を持つ選手をはじめ6名の選手により県内の小中高生120名を対象に指導が行われました。

教室は、監督から選手への紹介が行われた後、「今日の参加者の中から全国や世界で活躍できる選手が出ることを期待したい」との言葉をいただいたいき、気合いの入った教室が開始されました。午前はウォーミングアップから始まり、ストレッチ、基本練習、午後は、模範試合とチャレンジマッチとして、参加小中高生とN T T 東日本の選手との試合も行われました。

午前のストレッチでは、普段の練習では行っていない複数の種類のストレッチを指導され、今後の練習での怪我の防止や高いパフォーマンスを発揮するのにも役立つと思います。また、午後のチャレンジマッチなどを通して全日本トップクラスの選手とシャトルを打ち合った経験が、今後の練習や試合で役立つと思っています。



(広報 高橋記)



大会記 録

県大会

ヨネックス杯(2017.4.10 山形県体育館)
交流大会(ダブルス)

フリー

- 一位 石川 樹里・松田真里子
- 二位 山口 優依・富煙 舞(ワイナス)
- 三位 渋谷 瑠子・千場 夏末(ZOフレズ)

40歳以上

- 一位 大友 幸子・佐藤 奈美(ワイナス)
- 二位 青木絵衣子・齋藤 泉
- 三位 鈴木 千秋・田村 正恵(ZOフレズ)

50歳以上

- 一位 石井 和子・高橋 幸子
- 二位 長沼 志津・東海林直美(しらとり)
- 三位 登坂登志子・小関 淳子(米沢アイリス)

60歳以上

- 一位 工藤ちよ子・須藤 真弓
- 二位 四釜 松子・須貝とみ子(マリーゴールド)
- 三位 清野美重子・阿部 順子

平成29年度第57回山形県高等学校春季バドミントン選手権大会
(2017.4.29 山形県体育館)

男子シングルス

- 一位 牛澤 晃佑(米沢工業)
- 二位 赤木 優太(山本学園)
- 三位 近藤 直希(山本学園)

女子シングルス

- 一位 鈴木 野々(鶴岡北高)
- 二位 花輪 祥子(山形西高)
- 三位 長塚 葵衣(山形西高)

男子ダブルス

- 一位 牛澤 晃太・近藤 直希(山本学園)
- 二位 佐藤 総飛・高橋 宏介(鶴岡工業)
- 三位 木村 優佑・速藤 黎(米沢工業)

女子ダブルス

- 一位 名村 怜・青柳 朱音(山形城北)
- 二位 牧 優花・鈴木 野々(鶴岡北高)
- 三位 大沼友里愛・吉田 有希(山形城北)

女子シングルスA

- 一位 高橋 寧女(米沢南部JBC)
- 二位 今田 竜大(奥羽JBC)
- 三位 油井 颯飛(ふじかけ)

- 二位 伊藤 玲奈(南部シャトル)
- 三位 佐藤 瑞姫(南部シャトル)
- 梅津 里妃(米沢南部JBC)

男子シングルスB

- 一位 石沢 太一(ふじかけ)
- 二位 木村洸太郎(鶴岡六学区)
- 三位 齋藤 要(致道)

女子シングルスB

- 一位 山川 恵実(ふじかけ)
- 二位 原 愛(米沢南部JBC)
- 三位 高橋 心(米沢南部JBC)

男子シングルスC

- 一位 金田 煌永(奥羽JBC)
- 二位 梅津 光利(愛宕テリオ)
- 三位 シンケル 優希(立川)

女子シングルスC

- 一位 上野 優希(立川)
- 二位 廣瀬 朱(鶴岡六学区)

山形県バドミントン総合選手権大会
(2017.5.3 新庄市体育館)

男子シングルス

- 一位 田中 貴志(嶺でん六)
- 二位 小野 秀彰(新庄協会)
- 三位 内山 創平(嶺でん六)

女子シングルス

- 一位 花輪 祥子(山形西高)
- 二位 川越 愛奈(鶴岡協会)
- 三位 清和真理子(鶴岡協会)

男子ダブルス

- 一位 田中 貴志・林 泰成(嶺でん六)
- 二位 塚本 昌志・内山 創平(嶺でん六)
- 三位 長谷川圭太・菊地 瞭良(米沢協会)

女子ダブルス

- 一位 川越 愛奈・清和真理子(鶴岡協会)
- 二位 花輪 祥子・長塚 葵衣(山形西高)
- 三位 安部優衣子・矢萩 樺恋(山形西高)

高橋杯第13回山形県レディースバドミントン大会
(2017.5.7 山形県体育館)

女子複Aブロック

- 一位 石川 樹里・松田真里子
- 二位 三澤 陽子・富煙 舞(ワイナス)
- 三位 佐藤 玲奈・川合 郁(ZOフレズ)

- 二位 工藤ちよ子・阿部 順子
- 三位 (しらとり)・霞城の友スポーツ愛好会
- 信夫ゆみ子・佐々木喜美(鶴岡ウィンクス)

女子複Bブロック

- 一位 須藤 澄子・片山 維子(マリーゴールド)
- 二位 齋藤 啓子・加藤つもり(紅花スポーツ愛好会)

男子学校対抗

- 一位 山本学園・二位 鶴岡工業
- 二位 新庄南高・新庄北高
- 三位 山形城北・二位 山本学園

女子学校対抗

- 一位 山形城北・二位 山本学園
- 二位 山形西高・鶴岡北高
- 三位 シンケル 優佑(米沢工業)

男子ダブルス

- 一位 牛澤 晃太・近藤 直希(山本学園)
- 二位 佐藤 総飛・高橋 宏介(鶴岡工業)
- 三位 木村 優佑・速藤 黎(山本学園)

女子ダブルス

- 一位 名村 怜・青柳 朱音(山形城北)
- 二位 鈴木 野々・牧 優花(鶴岡北高)
- 三位 伊藤 虹汐・三上 菜月(山形城北)

第20回山形県小学生チーム対抗バドミントン大会兼
第33回若葉カップ全国小学生バドミントン大会予選会
(2017.6.3 山形県体育館)

男子団体

- 一位 ふじかけバドスポ少
- 二位 鶴岡六学区バドスポ少
- 三位 米沢南部JBC

女子団体

- 一位 鶴岡城北バドスポ少
- 二位 立川バドスポ少・山口バドスポ少

山形県定時制通信制大会
(2017.6.17 小真木原総合体育館)

学校対抗男子

- 一位 鶴岡工業・二位 霞城学園I部
- 三位 霞城学園IV部

学校対抗女子

- 一位 霞城学園IV部
- 二位 霞城学園III部
- 三位 鶴岡南

あなたへの頑張り応援します！
バドミントンに関すること、何でもご相談ください。
鶴岡でストリンガーのいるお店
皆川スポーツ
鶴岡市本町1丁目9-14 (銀座通り)
TEL 0235(22)0244
夜8時まで営業！

T'SPORT
タカハシスポーツ
ジャストフィット宣言
スポーツギアは、人が使ってはじめて威力を発揮するもので、それ自体では何の役にも立ちません。
人が使うことによって力を出すものだからこそ、ピッタリのモノを選んでさしあげるべきだと感じます。
T'SPORTは、頑張るバドミントン選手の応援団！
〒906-0071 新庄市小田島町2-56 是非一度アクセスして下さい！
TEL 0233-22-0377 FAX 22-0357
http://www.sports-takahas.com/quest
e-mail: taka_sport@birdie.ne.jp

- 三位 中川 芽衣・新野 奏音 (米沢工業)
 - 二位 渡辺 真海・三浦 紗希 (酒田西)
 - 男子シングルス
 - 一位 佐藤 寛太 (霞城IV)
 - 二位 温井 敦 (鶴岡南)
 - 三位 菅原 豊 (鶴岡工業)
 - 女子シングルス
 - 一位 長谷川真利菜 (霞城IV)
 - 二位 吉宮 悠華 (鶴岡南)
 - 三位 渡辺菜々子 (霞城III)
 - 長瀬 加奈 (霞城IV)
- 平成29年度国民体育大会県予選会兼
第44回東北バドミントン選手権大会山形県予選会
(2017.7.14・15 山形県総合運動公園)
- 少年男子シングルス
 - 一位 安達 大真 (鶴岡工業)
 - 二位 赤木 優佑 (米沢工業)
 - 三位 近藤 直希 (山本学園)
 - 少年女子シングルス
 - 一位 花輪 祥子 (山形西高)
 - 二位 玉川 花音 (鶴岡工業)
 - 三位 大沼友里愛 (山形城北)
 - 15歳以下男子シングルス
 - 一位 牛澤 晃太・近藤 直希 (山本学園)
 - 二位 佐藤 総飛・高橋 宏介 (鶴岡工業)
 - 三位 木村 碧・柿崎 俊樹 (山本学園)
 - 15歳以下女子シングルス
 - 一位 花輪 祥子・長塚 葵衣 (山形西高)
 - 二位 鈴木 野々・牧 優花 (鶴岡北高)
 - 三位 小関 萌花・小関 杏奈 (山本学園)
 - 成年男子シングルス
 - 一位 渋谷 勇希 (明治大学)
 - 二位 田中 貴志 (鶴でん六)
 - 三位 内山 創平 (鶴でん六)
 - 成年女子シングルス
 - 一位 八木 瑞月 (神奈川大学)
 - 二位 清和真理子 (めぐみ会)
 - 三位 安部菜美子 (日本大学)
 - 成年男子ダブルス
 - 一位 三浦 貴大・後藤 駿斗 (オリエンタルモーター・TBR)
 - 二位 渋谷 勇希・齋藤 大慎 (明治大学・日本体育大学)
 - 成年女子ダブルス
 - 一位 塚本 昌志・内山 創平 (鶴でん六)
 - 二位 八木 瑞月・安部菜美子 (神奈川大学・日本大学)
 - 三位 村山 可純・岡田 梓汐 (東北福祉大学・東京女子体育大学)
 - 30代男子シングルス
 - 一位 遠藤 保樹 (鶴岡市シルバー人材センター)
 - 二位 伊藤 大 (山形県医師会)
 - 三位 今野 隆史 (鶴岡地区医師会)
 - 30代男子ダブルス
 - 一位 富澤 拓・佐藤 俊博 (陸上自衛隊)
 - 二位 遠藤 保樹・高橋 俊彦 (鶴岡市シルバー人材センター・新庄協会)
 - 三位 伊藤 大・小野慎太郎 (山形県売場・ミドリ鮭川工業)

- 30代女子ダブルス
 - 一位 安孫子博美・松田真理子 (鶴でん六・米沢地区)
 - 40代男子シングルス
 - 一位 神保 一寿 (米沢興譲館職員)
 - 二位 富樫 宗 (鶴岡市消防本部)
 - 三位 上村 尚仁 (山形市立第六中学校教員)
 - 40代以上男子ダブルス
 - 一位 渡部 泰之・中澤 正幸 (RUN・丸定)
 - 二位 上林 英樹・富樫 宗 (プロテック総合保険・鶴岡市消防本部)
 - 三位 梅津 孝広・速藤 富博 (AGCデイス・レイグラス・おきたま農舎)
 - 40代女子ダブルス
 - 一位 山本今日子・板垣 尚美 (鶴岡地区・新庄地区)
 - 50代以上男子ダブルス
 - 一位 加藤 安史・丸山 勝美 (NTTドコモ・鶴岡市役所)
 - 二位 大場 宣一・那須 隆秀 (新光印刷・西五百川小学校)
 - 三位 皆川 芳久・中島 聡明 (ゆきわり養護学校教員・東北電気保安協会)
 - 50代以上女子ダブルス
 - 一位 笹原 智江・沼澤真理子 (山形地区・新庄地区)
 - 二位 佐藤美代子・板垣 尚美 (新庄協会)
- 第23回シャワ杯県シニアMIX団体戦大会
(2017.7.23 東根市体育館)
- 一部
 - 一位 HBC(A)
 - 二位 あすなろ(A)
 - 二部
 - 一位 浜中バドクラブ
 - 二位 あすなろ(B)
 - 三位 浜中300
 - 三部
 - 一位 ミラクル
 - 二位 マスコさん
 - 三位 なみ平さん
 - 四部
 - 一位 山形シニアバド(A)
 - 二位 チームTAKIYAMA
 - 三位 サンでんでんa
 - 四位 サンでんでん
- 第57回山形県中学校総合体育大会
(2017.7.23 山形県体育館)
- 男子団体
 - 一位 天童第二中学校
 - 二位 山形第三中学校
 - 三位 鶴岡第一中学校
 - 女子団体
 - 一位 鶴岡第一中学校
 - 二位 鶴岡第三中学校
 - 三位 米沢第二中学校
 - 男子シングルス
 - 一位 山科 陽翔 (明倫中)
 - 二位 門脇 令 (鶴岡一中)
 - 三位 大場 世風 (天童一中)
 - 四位 中川 楓磨 (萩野学園)
 - 女子シングルス
 - 一位 鈴木 育美 (鶴岡五中)
 - 二位 今田ひなた (日新中)
 - 三位 太田 咲 (天童一中)
 - 四位 土門 海音 (鶴岡三中)

- 男子ダブルス
 - 一位 赤松大吉・大林 大河 (天童二中)
 - 二位 佐藤 勝大・山田 純也 (山形三中)
 - 三位 遠藤 楓斗・本間 文輝 (鶴岡一中)
 - 四位 上野 豪治・本間 隆治 (鶴岡一中)
 - 女子ダブルス
 - 一位 梅津 茉那・加藤 綾菜 (長井南中)
 - 二位 石塚 夏実・富樫 晶那 (鶴岡一中)
 - 三位 齋藤 梓・齋藤 桜 (米沢二中)
 - 四位 伊藤 梨瑚・工藤 柚葉 (鶴岡一中)
- JOC県予選
(2017.8.11 鶴岡市小真木原体育館)
- ジュニア男子シングルス
 - 一位 安達 大真 (鶴岡工業)
 - 二位 赤木 優佑 (米沢工業)
 - 三位 岩田 零 (山本学園)
 - 四位 堀 春樹 (山形商業)
 - ジュニア女子シングルス
 - 一位 大沼友里愛 (山形城北)
 - 二位 吉田 有希 (山形城北)
 - 三位 青柳 朱音 (山形城北)
 - 四位 庄司 晴香 (天童高校)
 - ジュニア男子ダブルス
 - 一位 赤木 優佑・速藤 黎 (米沢工業)
 - 二位 五十嵐功一・中鉢 謙 (鶴岡工業)
 - 三位 安達 大真・佐藤 輝樹 (鶴岡工業)
 - 四位 井上 翔太・佐々木 蓮 (鶴岡工業)
 - ジュニア女子ダブルス
 - 一位 大沼友里愛・青柳 朱音 (山形城北)
 - 二位 富樫 晶那・石塚 夏実 (鶴岡一中)
 - 三位 梅津 茉那・加藤 綾菜 (長井南中)
 - 四位 野口 綾音・佐藤萌々花 (鶴岡北高)
 - ジュニア新人男子シングルス
 - 一位 門脇 令 (鶴岡一中)
 - 二位 山科 陽翔 (明倫中)
 - 三位 金田 侑真 (新庄中)
 - ジュニア新人女子シングルス
 - 一位 太田 咲 (天童一中)
 - 二位 今田ひなた (日新中)
 - 三位 志田 真梓 (立川中)
- 第21回山形県小学生バドミントン学年別選手権大会
兼第23回東北小学生バドミントン大会山形県予選会
(2017.8.26 山形県体育館)
- 4年生以下男子シングルス
 - 一位 石沢 太一 (ふじかけ)
 - 二位 加藤 悠雅 (長井JSC)
 - 三位 木村光太郎 (鶴岡六学区)
 - 4年生以下女子シングルス
 - 一位 山川 恵実 (ふじかけ)
 - 二位 安在 悠羽 (鶴岡城北)
 - 三位 高橋 心 (米沢南部JBC)
 - 5年生以下男子シングルス
 - 一位 佐藤 愛翔 (大山)
 - 二位 西部 陽翔 (米沢南部JBC)
 - 三位 佐藤 廉時 (いつき)
 - 5年生以下女子シングルス
 - 一位 榎本 美優 (愛宕ティオ)
 - 二位 奥山和香子 (天童市)
 - 三位 松田 光歩 (立川)
 - 6年生以下男子シングルス
 - 一位 今田 竜大 (奥羽JBC)
 - 二位 油井 颯飛 (ふじかけ)

パワフルに鋭い連続スマッシュで決める。

ASTROX 77

NEW Nami Rotational Generator System

[アストロクス77].....¥23,000+税 日本製

※Namiは、ニッタ(株)が開発した「ナノ分載カーボンナチューブ」を炭素繊維へ均一複合化しする技術です。

YONEX

(シャインイエロー) (メタリックブルー)

f /YONEXBadmintonJapan @yonex_jp www.yonex.co.jp/

- 6年生以下女子シングルス
 - 三位 中川 煌(沼田)
 - 一位 高橋 寧女(米沢南部JBC)
 - 二位 永岡 由帆(山口)
 - 三位 黒沢 風空(ふじかけ)
- 4年生以下男子ダブルス
 - 一位 難波 瞳輝・齋藤 要(致道)
 - 二位 齋藤 陽太・白木 翔琉(ふじかけ)
 - 三位 荒瀬 海里・金田 煌永(奥羽JBC)
- 4年生以下女子ダブルス
 - 一位 原 愛・齋藤 綾音(米沢南部JBC)
 - 二位 石川 彩夏・上野 優花(立川)
 - 三位 上野 里恩・花屋さくら(上山ジュニア)
- 5年生以下男子ダブルス
 - 一位 藤井 杏・庄司 陽祐(天童市)
 - 二位 中鉢 栞汰・八欽 京也(鮭川)
- 5年生以下女子ダブルス
 - 一位 高橋 花菜・黒坂 未来(沼田)
 - 二位 佐藤 栞菜・小林 桃子(鶴岡城北)
 - 三位 加賀日菜里・栗田 七海(愛宕アイオ)
- 6年生以下男子ダブルス
 - 一位 島貫 昌陸・成澤 純太(ふじかけ)
 - 二位 佐藤 壯樹・佐藤 良多(鶴岡太学区)
 - 三位 齋藤 羽温・佐藤 嘉高(鶴岡城北)
- 6年生以下女子ダブルス
 - 一位 伊藤 玲奈・佐藤 瑞姫(南部シャトル)
 - 二位 梅津 里妃・菊地 琉花(米沢南部JBC)
 - 三位 松田明日香・齋藤 美優(大山)
- クラブ対抗一部
 - 一位 ヴェイナス
- クラブ対抗二部
 - 一位 クイーンクラブ
 - 二位 A.L.L.ダイヤモンド
 - 三位 マリーゴールド
- ダブルス66歳以上
 - 一位 工藤ちよ子・小沼由美子(しらとり・城北クラブ)
 - 二位 佐藤加代子・丸山弘美(鶴岡ウイングス・鶴岡パドミントンOB会)
 - 三位 佐藤 明美・三浦 友子(しらとり・クイーンクラブ)

第11回山形県小学生パドミントンダブルス大会
(2017・9・17 山形県体育館)

- 男子
 - 一位 島貫 壯陸・成澤 純太(ふじかけ)
 - 二位 油井 颯飛・石沢 太一(ふじかけ)
 - 三位 佐藤 昌樹・佐藤 良多(鶴岡六学区)
- 女子
 - 一位 伊藤 玲奈・佐藤 瑞姫(南部シャトル)
 - 二位 高橋 寧女・永岡 由帆(米沢南部JBC・山口パド)
 - 三位 梅津 里妃・菊地 琉花(米沢南部JBC)

- 第44回 山形県中学校新人体育大会 (2017・10・21 山形県体育館)
 - 男子団体
 - 一位 鶴岡第一中学校
 - 二位 日新中学校
 - 三位 山形第二中学校・山形第一中学校
 - 女子団体
 - 一位 米沢第二中学校
 - 二位 鶴岡第二中学校
 - 三位 日新中学校・鶴岡第五中学校
 - 男子シングルス
 - 一位 島貫 陽仁(山形十中)
 - 二位 門脇 令(鶴岡一中)
 - 三位 山科 陽翔(新倫中)
 - 女子シングルス
 - 一位 太田 咲(天童一中)
 - 二位 今田ひなた(日新中)
 - 三位 志田 真梓(立川中)
 - 男子ダブルス
 - 一位 大林 大河・大場 世風(天童二中)
 - 二位 佐々木志穂・難波 颯波(鶴岡三中)
 - 三位 成澤 元太・渋谷 啓騎(山形二中)
 - 女子ダブルス
 - 一位 齋藤 梓・齋藤 桜(米沢二中)
 - 二位 河内美日路・鈴木 美結(山形三中)
 - 三位 荒明 雪楠・五十嵐梨帆(鶴岡五中)
- 第7回山形県シニアパドミントン大会団体戦 (2017・11・3 寒河江市民体育館)
 - 一部
 - 一位 ミラクル
 - 二位 HBC(A)
 - 三位 浜中パドクラブA
 - 二部
 - 一位 HBC(B)
 - 二位 南陽パド
 - 三部
 - 一位 Y.C.B.C-1
 - 二位 米沢シニア
 - 四部
 - 一位 天童ファミリー
 - 二位 浜中パドB
 - 三位 米沢サンテーズ
- 山形県高等学校新人大会 (2017・11・4・5 山形市総合スポーツセンター)
 - 男子学校対抗
 - 一位 鶴岡工業、二位 米沢工業
 - 三位 山形商業
 - 女子学校対抗
 - 一位 山形城北、二位 山本学園
 - 三位 山形商業
 - 男子シングルス
 - 一位 赤木 優佑(米沢工業)
 - 二位 安達 大真(鶴岡工業)
 - 三位 中鉢 謙(鶴岡工業)
 - 女子シングルス
 - 一位 吉田 有希(山形城北)
 - 二位 三上 菜月(山形城北)
 - 三位 青柳 朱音(山形城北)
 - 男子ダブルス
 - 一位 五十嵐功一・中鉢 謙(鶴岡工業)
 - 二位 安達 大真・佐藤 輝樹(鶴岡工業)

- 赤木 優佑・遠藤 黎(米沢工業)
- 女子ダブルス
 - 一位 青柳 朱音・大沼友里愛(山形城北)
 - 二位 吉田 有希・三上 菜月(山形城北)
 - 三位 野口 綾音・佐藤萌々花(鶴岡北高)
- 第34回山形県パドミントンスポーツ少年団交流大会 (2017・11・23 新庄市体育館)
 - 6年生以下男子シングルス
 - 一位 油井 颯飛(ふじかけ)
 - 二位 島貫 壯陸(ふじかけ)
 - 三位 佐藤 愛翔(大山)
 - 6年生以下女子シングルス
 - 一位 永岡 由帆(山口)
 - 二位 伊藤 玲奈(南部シャトル)
 - 三位 高橋 寧女(米沢南部JBC)
 - 6年生以下男子ダブルス
 - 一位 油井 颯飛・島貫 壯一(ふじかけ)
 - 二位 成澤 純太・石沢 太一(ふじかけ)
 - 三位 齋藤 羽温・佐藤 嘉高(鶴岡城北)
 - 6年生以下女子ダブルス
 - 一位 伊東 玲奈・佐藤 瑞姫(南部シャトル)
 - 二位 梅津 里妃・菊地 琉花(米沢南部JBC)
 - 三位 松田明日香・齋藤 美優(大山)
 - 5年生以下男子ダブルス
 - 一位 若月純一郎・加藤 悠雅(長井JSC)
 - 二位 齋藤 愛翔・佐藤 隼士(大山)
 - 三位 難波 瞳輝・齋藤 要(致道)
 - 5年生以下女子ダブルス
 - 一位 高橋 花菜・黒坂 未来(沼田)
 - 二位 榎本 美優・栗田 七海(愛宕アイオ)
 - 三位 吉田 芽依・松田 一華(上山ジュニア)
- ジャワ杯高等学校パドミントン大会 (2017・11・23 山形県体育館)
 - 男子学校対抗
 - 一位 鶴岡工業 二位 山本学園
 - 三位 山形商業・山形工業
 - 女子学校対抗
 - 一位 山本学園 二位 山形学院
 - 三位 新庄南・九里学園
- 第20回ラケットショップ山形杯山形県中学生選手権大会 (2018・1・28 山形県総合運動公園)
 - 男子シングルス
 - 一位 大場 世風(天童二中)
 - 二位 三浦 颯太(鶴岡四中)
 - 三位 小笠原爽太(山形二中)
 - 女子シングルス
 - 一位 山形歩乃果(山形六中)
 - 二位 小野 輝莉(鶴岡一中)
 - 三位 柿崎このみ(山形一中)
 - 男子ダブルス
 - 一位 奥山 雄貴・今田 暉(明倫中)
 - 二位 渡会 康生・波部 海翔(鶴岡二中)
 - 三位 稲葉 夢羅・伊藤 悠希(天童二中)
 - 女子ダブルス
 - 一位 山崎 陽真・相馬 悠人(山形五中)
 - 二位 小山 真央・齋藤 優菜(山形三中)
 - 三位 高橋 花華・森村 美友(天童二中)

飛びに応える究極のフォーム

PRO FEATHER

PRO FEATHERは1羽から14枚しか取れない羽根を厳選し、徹底した品質管理の基に理想の飛びを追求した、専門店会こだわりのシャトルコックです。

GX

¥5,778(5,350)

FD [fúkuai deppó]

株式会社 山口

第23回山形県小学生バドミントンシングルス大会
(2018・2・3 山形県体育館)

- 1年生以下男子
 - 一位 石沢 康太(ふじかけ)
 - 二位 中野 謙志(米沢南部JBC)
 - 三位 馬場 理人(天童市)
- 1年生以下女子
 - 一位 黒沢 流空(ふじかけ)
 - 二位 高橋莉愛奈(致道)
 - 三位 阿部 唯花(鮎川)
- 2年生以下男子
 - 一位 金田 煌永(奥羽JBC)
 - 二位 矢萩 凛斗(山口)
 - 三位 梅津 光利(米沢南部JBC)
- 2年生以下女子
 - 一位 上野 優寿(立川)
 - 二位 高橋伶桜奈(致道)
 - 三位 松田 莉央(ふじかけ)
- 3年生以下男子
 - 一位 齊藤 要(致道)
 - 二位 難波 瞳輝(立川)
 - 三位 小林 祐希(立川)
- 3年生以下女子
 - 一位 高橋 心(米沢南部JBC)
 - 二位 上野 優花(立川)
 - 三位 安在 悠羽(鶴岡城北)
- 4年生以下男子
 - 一位 石沢 太一(ふじかけ)
 - 二位 木村洸太郎(鶴岡六学区)
 - 三位 加藤 悠雅(長井JSC)
- 4年生以下女子
 - 一位 山川 恵実(ふじかけ)
 - 二位 齋藤 綾音(米沢南部JBC)
 - 三位 室屋 咲空(米沢南部JBC)
- 5年生以下男子
 - 一位 佐藤 愛翔(大山)
 - 二位 若月純一朗(長井JSC)
 - 三位 西部 陽翔(米沢南部JBC)
- 5年生以下女子
 - 一位 榎本 美優(愛宕デイト)
 - 二位 奥山和香子(天童市)
 - 三位 高橋 花菜(沼田)
- 6年生以下男子
 - 一位 油井 颯飛(ふじかけ)
 - 二位 島貫 壮陸(ふじかけ)
 - 三位 中川 煌(沼田)
- 6年生以下女子
 - 一位 高橋 寧女(米沢南部JBC)
 - 二位 永岡 由帆(山口)
 - 三位 伊藤 玲奈(南部シャトル)

東北大会

第46回 東北高等学校バドミントン選手権大会
(2017・6・23・25 CNA☆アリーナあきた)

- 男子学校対抗
 - 山本学園 ベスト8
 - 鶴岡工業 出場
 - 山形城北 出場
 - 山本学園 出場
- 女子学校対抗
 - 山本学園 出場

男子ダブルス

- 男子ダブルス
 - 牛澤 晃太・近藤 直希(山本学園) 2回戦進出
 - 左藤 総飛・高橋 宏介(鶴岡工業) 2回戦進出
 - 五十嵐功一・中鉢 謙(鶴岡工業) 出場
 - 木村 碧・柿崎 俊樹(山本学園) 出場
- 女子ダブルス
 - 名村 怜・青柳 朱音(山形城北) ベスト8
 - 鈴木 野々・牧 優花(鶴岡北) 2回戦進出
 - 小関 萌花・小関 杏奈(山本学園) 出場
 - 伊藤 虹汐・三上 菜月(山形城北) 出場
- 男子シングルス
 - 赤木 優佑(米沢工業) 2回戦進出
 - 牛澤 晃太(山本学園) 2回戦進出
 - 安達 大真(鶴岡工業) 2回戦進出
 - 近藤 直希(山本学園) 2回戦進出
- 女子シングルス
 - 牧 優花(鶴岡北) 2回戦進出
 - 玉川 花音(鶴岡工業) 2回戦進出
 - 花輪 祥子(山形西) 出場
 - 鈴木 野々(鶴岡北) 出場
- 男子団体
 - 天童二中(ベスト8)、山形三中、鶴岡一中(出場)
- 女子団体
 - 鶴岡一中(四位)、鶴岡二中(ベスト8)、米沢二中(出場)
- 男子シングルス
 - 山科 陽翔(明倫中)、門脇 令(鶴岡一中)、大場 世風(天童二中) 出場
- 女子シングルス
 - 鈴木 育実(鶴岡五中) ベスト8、今田ひなた(白新中)、太田 咲(天童一中) 出場
- 男子ダブルス
 - 赤松大志吉・大林 大河(天童一中)、佐藤 勝大・山田 純也(山形三中)、遠藤 楓斗・本間 文輝(鶴岡一中) 出場
- 女子ダブルス
 - 梅津 茉那・加藤 綾菜(長井南中) 三位
 - 石塚 夏実・富樫 晶那(鶴岡一中) ベスト8
 - 齋藤 梓・齋藤 桜(米沢二中) 2回戦進出

第38回東北中学校バドミントン大会
(2017・8・7・8 花巻市総合体育館)

- 男子団体
 - 天童二中(ベスト8)、山形三中、鶴岡一中(出場)
- 女子団体
 - 鶴岡一中(四位)、鶴岡二中(ベスト8)、米沢二中(出場)

第44回東北総合体育大会兼第72回国民体育大会東北地区予選会兼第69回東北バドミントン選手権大会
(2017・8・18・20 美郷総合体育館リリオ)

- 少年男子団体
 - Bブロック二位
- 少年女子団体
 - Bブロック二位
- 成年男子団体
 - Bブロック二位
- 成年女子団体
 - Bブロック二位
- 青年男子シングルス
 - 田中 貴志 三位
 - 小野 秀彰 2回戦出場
 - 塚本 昌志 出場
 - 内山 創平 出場
- 青年女子シングルス
 - 上野 杏菜 2回戦出場
 - 清和真理子 ベスト8
 - 川越 愛奈 出場
 - 本間 紅莉 出場
- 青年男子ダブルス
 - 三浦 貴大・後藤 駿斗 出場
 - 田中 貴志・林 泰成 出場
 - 川越 愛奈・清和真理子 ベスト8

安部優衣子・矢萩 樺恋 出場

- 30歳以上男子シングルス
 - 遠藤 保樹 優勝
 - 伊藤 隆史 ベスト8
 - 今野 慶太 2回戦出場
- 40歳以上男子シングルス
 - 神保 一寿 準優勝
 - 富樫 宗 出場
- 30歳以上男子ダブルス
 - 富澤 拓・佐藤 俊博 ベスト8
- 30歳以上女子ダブルス
 - 我孫子博美・松田真理子 出場
- 40歳以上男子ダブルス
 - 渡部 泰之・中澤 正幸 ベスト8
 - 上村 英樹・富樫 宗 出場
- 40歳以上女子ダブルス
 - 山本今日子・菅原 清子 出場
- 50歳以上男子ダブルス
 - 加藤 安史・丸山 勝美 優勝
- 50歳以上女子ダブルス
 - 笹原 智江・沼澤真理子 三位
- 混合ダブルス
 - 小野 秀彰・安倍優衣子 三位
- 6年生以下男子シングルス
 - 今田 竜大 準優勝
 - 油井 颯飛 ベスト8
 - 大友 諒 出場
 - 中川 煌 出場
- 6年生以下女子シングルス
 - 永岡 由帆 ベスト8
 - 高橋 寧女 ベスト8
 - 黒沢 風空 ベスト16
 - 佐藤 野乃 出場
- 5年生以下男子シングルス
 - 佐藤 愛翔 ベスト8
 - 佐藤 康時 ベスト16
 - 若月純一朗 ベスト16
- 5年生以下女子シングルス
 - 榎本 美優 ベスト8
 - 吉田 光歩 出場
 - 松田 芽依 出場
 - 奥山和香子 出場
- 4年生以下男子シングルス
 - 木村洸太郎 ベスト8
 - 小林 祐希 ベスト8
 - 石沢 太一 ベスト8
 - 加藤 祐雅 出場
- 4年生以下女子シングルス
 - 山川 恵実 ベスト8
 - 安在 悠羽 ベスト16
 - 室屋 咲空 出場
 - 高橋 心 出場
- 6年生以下男子ダブルス
 - 佐藤 昌樹・佐藤 良多 ベスト8
 - 島貫 壮陸・成澤 純太 ベスト8
 - 齋藤 羽音・佐藤 嘉高 ベスト16
 - 小野寺光大・小池 陽斗 出場

第23回東北小学生バドミントン大会
(2017・10・14 新庄市体育館)

- 6年生以下男子シングルス
 - 今田 竜大 準優勝
 - 油井 颯飛 ベスト8
 - 大友 諒 出場
 - 中川 煌 出場
- 6年生以下女子シングルス
 - 永岡 由帆 ベスト8
 - 高橋 寧女 ベスト8
 - 黒沢 風空 ベスト16
 - 佐藤 野乃 出場
- 5年生以下男子シングルス
 - 佐藤 愛翔 ベスト8
 - 佐藤 康時 ベスト16
 - 若月純一朗 ベスト16
- 5年生以下女子シングルス
 - 榎本 美優 ベスト8
 - 吉田 光歩 出場
 - 松田 芽依 出場
 - 奥山和香子 出場
- 4年生以下男子シングルス
 - 木村洸太郎 ベスト8
 - 小林 祐希 ベスト8
 - 石沢 太一 ベスト8
 - 加藤 祐雅 出場
- 4年生以下女子シングルス
 - 山川 恵実 ベスト8
 - 安在 悠羽 ベスト16
 - 室屋 咲空 出場
 - 高橋 心 出場
- 6年生以下男子ダブルス
 - 佐藤 昌樹・佐藤 良多 ベスト8
 - 島貫 壮陸・成澤 純太 ベスト8
 - 齋藤 羽音・佐藤 嘉高 ベスト16
 - 小野寺光大・小池 陽斗 出場



www.victorsport.com

- 6年生以下女子ダブルス
伊藤 玲奈・佐藤 瑞姫 三位
松津 明日香・齋藤 美優 ペースト8
池田 寿梨・齋藤 未希 出場
- 5年生以下男子ダブルス
中島 希大・長沼 惟希 ペースト8
中鉢 葉汰・八坂 京也 ペースト16
五十嵐 仙・本間 天祐 出場
- 5年生以下女子ダブルス
藤井 杏・庄司 陽祐 出場
- 5年生以下男子ダブルス
高橋 花菜・黒坂 未来 ペースト8
加賀日菜里・栗田 七海 ペースト16
小野 咲月・佐藤 加奈 出場
- 4年生以下男子ダブルス
佐藤 葉菜・小林 桃子 出場
- 4年生以下女子ダブルス
難波 暉輝・齋藤 要 ペースト8
荒瀨 雄翔・矢萩 煌斗 ペースト16
齋藤 陽太・白木 翔琉 出場
- 4年生以下女子ダブルス
石川 彩夏・上野 優花 四位
原 愛・齋藤 綾音 ペースト8
佐藤 里叶・廣瀬 蒼 出場
- 4年生以下男子ダブルス
上野 里恩・花屋 さくら 出場

第24回東北地区レディスパドミントン大会
(2017・10・15 秋田県立体育館)

- 男子団体
鶴岡一中(ペースト8)、山形二中・山形一中(2回戦進出)、日新中(出場)
- 女子団体
米沢二中(ペースト4)、日新中、鶴岡五中(2回戦進出)、鶴岡三中(出場)
- 男子シングルス
島貫 陽仁(山形十中) 3回戦進出、金田 侑真(新庄中)、春日 丈(鶴岡三中) 2回戦進出、門脇 令(鶴岡一中) 2回戦進出、山科 陽翔(明倫中)、山路 徹(山形五中)、青柳 達也(天童四中)、高橋 直希(山形二中) 出場
- 女子シングルス
太田 咲(天童一中) ペースト8、山川 歩乃果(山形六中)、志田 真倅(立川中) 3回戦進出、小野 輝莉(鶴岡一中)、菅原 園花(鶴岡二中) 2回戦進出、今田ひなた(日新中) 2回戦進出、小松 杏南(長井南中)、藤田 杏奈(米沢二中) 出場
- 男子ダブルス
佐々木志穂・難波 魁凌(鶴岡三中)、佐藤 嘉晃・伊藤 加周(鶴岡一中) ペースト8、成澤 元太・渋谷 啓騎(山形三中) 3回戦進出、大林 大河・大場 世風(天童二中) 2回戦進出、本間 文輝・佐藤 直紀(鶴岡一中)、鈴木 貫太・近藤 陸翔(山形七中) 2回戦進出、渡会 康生・波部 海翔(鶴岡三中)、本間 康真・三浦 寛生(明倫中) 出場
- 女子ダブルス
齋藤 梓・齋藤 桜(米沢一中) ペースト8、

- 菅原 翔華・阿部 朱里(鶴岡三中) 3回戦進出、河内 美日路・鈴木 美結(山形三中)、荒明 雪楠・五十嵐 梨帆(鶴岡五中) 2回戦進出、大島 果音・森村 美友(天童二中) 出場、中島 華那・芦野 愛里(日新中)、大滝 さら・五十嵐 七海(鶴岡一中)、齋藤 和花・瀬谷 さくら(小国中) 出場
- 男子学校対抗
鶴岡工業 ペースト8
山形商業 2回戦進出
新庄南 2回戦進出
米沢工業 2回戦進出
- 女子学校対抗
山形城北 ペースト8
山本学園 2回戦進出
山形学院 出場
- 男子ダブルス
五十嵐 功一・中鉢 讓(鶴岡工業) ペースト8
安達 大真・佐藤 輝樹(鶴岡工業) 出場
- 女子ダブルス
青柳 朱音・大沼友里愛(山形城北) 三位
吉田 有希・三上 菜月(山形城北) 出場
- 男子シングルス
安達 大真(鶴岡工業) ペースト8
赤木 優佑(米沢工業) 出場
- 女子シングルス
吉田 有希(山形城北) 出場
三上 菜月(山形城北) 出場

全国大会

第68回全国高等学校選手権大会
(2017・7・29～8・3 新庄市・尾花沢市)

- 男子学校対抗
山本学園 2回戦進出
鶴岡工業 2回戦進出
山形城北 2回戦進出
- 女子学校対抗
山本学園 2回戦進出
山形城北 2回戦進出
- 男子ダブルス
五十嵐 功一・中鉢 讓(鶴岡工業) 2回戦進出
牛澤 晃太・近藤 直希(山本学園) 2回戦進出
佐藤 総飛・高橋 宏介(鶴岡工業) 2回戦進出
木村 碧・柿崎 俊樹(山本学園) 出場
- 女子ダブルス
伊藤 紅鈴・三上 菜月(山形城北) 2回戦進出
牧 優花・鈴木 野々(鶴岡北) 2回戦進出
名村 玲・青柳 朱音(山形城北) 2回戦進出
小関 萌花・小関 杏奈(山本学園) 出場
- 男子シングルス
赤木 優佑(米沢工業) 2回戦進出
牛澤 晃太(山本学園) 2回戦進出
安達 大真(鶴岡工業) 出場
- 女子シングルス
鈴木 野々(鶴岡北) 3回戦進出
花輪 祥子(山形西) 2回戦進出

第56回全日本教職員選手権大会
(2017・8・14 福島県郡山市)

- 男子40歳以上団体 出場
●男子40歳以上シングルス
神保 一寿 二位
上村 尚仁 ペースト8
永岡 誠 2回戦進出
本間 真澄 出場
- 男子50歳以上ダブルス
上村 尚仁・永岡 誠 2回戦進出
那須 隆秀・皆川 芳久 出場

第19回全国高等学校定時制通信制大会
(2017・8・16～19 神奈川県小田原市)

- 男子団体 3回戦進出
●女子団体 出場
- 男子シングルス
佐藤 寛太 3回戦進出
温井 敦 出場
- 女子シングルス
長谷川真利菜 3回戦進出
吉宮 悠華 出場

第47回全国中学校パドミントン大会
(2017・8・22～8・25 佐賀県総合体育館)

- 女子ダブルス
梅津 茉那・加藤 綾菜(長井南中) 2回戦進出
- 第36回全日本ジュニアパドミントン選手権大会
(2017・9・15～18 ALSOKぐんまアリーナ)
- ジュニアの部 男子シングルス
安達 大真 2回戦進出
- ジュニアの部 男子ダブルス
赤木 優佑・遠藤 黎 出場
- ジュニアの部 女子シングルス
大沼友里愛 出場
- ジュニアの部 女子ダブルス
吉田 有希・大沼友里愛 2回戦進出
- ジュニア新人男子シングルス
山科 陽翔 3回戦進出
- ジュニア新人女子シングルス
門脇 令 出場
- ジュニア新人女子ダブルス
太田 咲 2回戦進出
今田ひなた 2回戦進出

第34回全日本ジュニア選手権大会
(2017・11・17～20 石川県金沢市)

- 35歳以上女子シングルス
坂東真由美 三位
- 55歳以上女子ダブルス
佐藤美代子 三位
- 55歳以上混合ダブルス
佐藤美代子 ペースト8
- 60歳以上男子ダブルス
阿部 伸一 ペースト8
- 65歳以上混合ダブルス
武田藤一郎 ペースト8
- 70歳以上男子ダブルス
武田藤一郎 ペースト8

- 30歳以上男子シングルス
野尻 光 3回戦進出
伊藤 大 3回戦進出
- 35歳以上男子シングルス
鈴木 涉 2回戦進出
- 40歳以上男子シングルス
柳沢 健一 出場
- 45歳以上男子シングルス
富樫 宗 3回戦進出
- 50歳以上女子シングルス
中澤 正幸 2回戦進出
- 50歳以上男子シングルス
野尻 光・伊藤 大 出場
- 60歳以上男子ダブルス
柳沢 健一・鈴木 涉 出場
- 45歳以上男子ダブルス
渡部 泰之・中澤 正幸 2回戦進出
- 50歳以上男子ダブルス
穴戸 文夫 出場
- 60歳以上男子ダブルス
丸山 勝美 4回戦進出
- 65歳以上男子ダブルス
鈴木 國男 3回戦進出
- 40歳以上女子ダブルス
坂東真由美 4回戦進出
- 50歳以上女子ダブルス
沼澤 宏子・石井 和子 出場
- 65歳以上女子ダブルス
沼澤真理子 4回戦進出
- 70歳以上女子ダブルス
村上きよ子・小沢 町子 2回戦進出
- 45歳混合ダブルス
渡部 泰之・沼澤真理子 4回戦進出
- 50歳以上混合ダブルス
菅原 正・石井 和子 2回戦進出
- 55歳以上混合ダブルス
穴戸 文夫・相馬はる美 出場
- 60歳以上混合ダブルス
大場 宣一 2回戦進出
- 60歳以上混合ダブルス
丸山 勝美 3回戦進出
- 65歳以上混合ダブルス
阿部 伸一 2回戦進出
- 65歳以上混合ダブルス
鈴木 國夫・鈴木 国井 出場
- 70歳以上混合ダブルス
平方 孝夫 出場
- 75歳以上混合ダブルス
村上きよ子 出場

第26回全国小学生パドミントン選手権大会
(2017・12・23～24 広島県立総合体育館)

- 都道府県対抗団体戦
男子 出場
女子 ペースト32
- 男子シングルス6年生以下
今田 竜大 ペースト8
- 女子ダブルス6年生以下
伊藤 玲奈・佐藤 瑞姫 出場

平成30年度 山形県バドミントン協会主要大会計画

期 日				大会名	会 場
年	月	日	曜日		
30	4	15	日	全日本レディース選手権大会山形県予選会	山形県体育館
30	4	28	土	山形県高校春季選手権大会	山形県体育館
30	5	3	木	山形県総合選手権大会	山形県体育館
30	5	20	日	さくらんぼ杯兼東北レディース県予選会	山形県体育館
30	5	26	土	全国小学生ABC県予選会	山形県体育館
30	6	1～3	金～日	山形県高校総体	米沢市営、置賜生涯学習プラザ
30	6	9	土	全日本シニア選手権県予選	山形県体育館
30	6	10	日	若葉カップ山形県予選会	置賜生涯学習プラザ
30	6	16	土	山形県高校定時制通信制大会	未定
30	7	6～8	金～日	国体県予選	新庄市体育館
30	7	15	日	ジャワ杯県シニアMIX団体戦大会	山形市江南体育館
30	7	20～22	金～日	山形県中学校総体	新庄市体育館
30	8	11	土	JOC全日本ジュニア山形県予選会	県総合運動公園
30	8	26	日	県小学生学年別選手権大会兼東北大会県予選会	山形県体育館
30	9	23	日	山形県小学生ダブルス選手権大会	置賜生涯学習プラザ
30	10	6	土	山形県少年少女スポーツ交流大会	山形県体育館
30	10	20	土	山形県中学校新人大会	新庄市体育館
30	11	3～4	土～日	山形県高校新人大会	山形市スポーツセンター
30	11	23	金	ジャワ杯県高等学校選手権大会	山形県体育館
30	11	23	金	山形県スポーツ少年団交流大会	新庄市体育館
30	12	22	土	バドミントンチャンピオンシップ2018	山形県体育館
31	1	20	日	ラケットショップ杯山形県中学生大会	山形県体育館
31	2	2	土	山形県小学生シングルス大会	山形県体育館
31	2	9	土	山形県高校生あすなろ大会	山形県体育館
30	8	23～26	木～日	東北総合体育大会	宮城県塩釜市
30	10	5～8	金～月	国民体育大会	福井県勝山市

※この大会日程は、編集時のものであり変更される場合があります。ホームページ等をご確認願います。

編集後記

平成29年度は、47インターハイ以来45年ぶりとなる南東北インターハイが、本県を会場に開催されました。期間中、全国各地の厳しい予選を勝ち抜いた1100余名の選手が本県3市4会場において熱戦を繰り広げました。その一つ一つのショットの精度の高さやスピード、長いラリーに耐える体力と精神力などすべてのプレーに、会場に足を運んだ多くのバドミントンファンが感動を覚えたのではないのでしょうか。

また、この会場でのプレーを目の当たりにした県内小中学生にとっても、よい刺激となるとともに、今後の目標として県内開催の大きな財産になったと思います。そして、編集中に嬉しいニュースが飛び込んできました。日バのナショナルメンバースとして世界を転戦した五十嵐優選手と世界シニアで素晴らしい成績を残した佐藤美代子さんに、加藤条治選手や他のオリンピック選手と共に平成29年度の県教育庁のスポーツ大賞栄誉賞、体育協会からは奨励賞が授与されました。今後とも、お二人には本県バドミントン界のけん引役として益々の活躍を期待したいと思います。

広報委員長 高橋耕太郎